

平成 30 年 5 月 15 日

平成 30 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
東京 IT 会計専門学校杉並校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「平成 29 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 平成 30 年度学校関係者評価委員会

< 委員 > (五十音順)

青山 文彦 氏	立志舎高等学校 教頭
麻生 昌宏 氏	日本 NCR 株式会社 カスタマー・サービス本部 フィールドオペレーションズ東日本 東京第四 マネジャー
押田 輝仁 氏	三菱総研 DCS 株式会社 技術推進事業部
富澤 武幸 氏	特定非営利活動法人東京高円寺阿波おどり振興協会 専務理事・事務局長
中野 弘之 氏	リコージャパン株式会社 販売事業本部 首都圏 MA 事業部 産業第二営業部 リーダー
仲村 伸明 氏	コスモエネルギーシステムズ株式会社 管理システム部 経理グループ
林 成治 氏	優成監査法人 監査第 1 事業部
松元 徹 氏	ロハスミッション株式会社 総務・経理課長
森川麻千子 氏	森川会計事務所 税理士

< 事務局 >

箱崎 一次	校長
八巻 一也	教務部課長
石橋 三男	教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
<p>基準1 教育理念・目標</p>	<p>イ. 教育理念、目的、育成人材像について定められているか 学校の目的を「学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、ビジネスおよび情報処理に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や实际生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。」としている。さらに専門分野の特性が明確になるように学科ごとに目標も定め、ホームページで広く公表している。また、学園の基本目標を『学生から信頼され支持される学校づくり』として、教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か 教育の特色は、本学独自の教育システムの「ゼミ学習」である。この学習システムにより合格実績、就職実績、人格陶冶を達成している。</p> <p>ハ. 教育理念、目的、育成人材、特色が学生や保護者などに周知されているか 入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明しており学生、保護者等に周知しているが完全とは言えないため今後も継続して学生・保護者等に周知していく。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は業界ニーズに向けられているか 育成人材像が業界のニーズに向けて方向づけられるように、毎年開催する学内就職セミナー（H29年度1525社の企業が参加）や教育課程編成委員会を通して業界のニーズを把握し、ゼミ学習を通じて日々学生を指導している。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 貴校の卒業生は、ゼミ学習を通じてコミュニケーション能力や柔軟性、積極性があり、即戦力として活躍している。</p> <p>(2) 在学中のゼミ学習は、仲間と相談して色々な意見を聞きながら学べる良い経験だった。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的に沿った運営方針が策定されているか 各学科の目的等を達成するために「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標とし全教職員に周知徹底している。各部署には目標達成のために数値目標が明確にされており、その目標達成のために授業を組織的に運営している。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか 運営組織や意思決定機能は規則等において明確にしており、理事会、学園協議会といった意思決定システムが整備され、その役割と権限を明確にしている。</p> <p>ハ. 人事制度や組織整備がなされているか 人事や賃金の処遇に関する制度として、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度を整備している。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p>

	<p>日常的な意思決定は管理職が行っている。学校間の調整は企画本部や学園協議会で決定している。また、責任者会議、課会議、公務員企画会議といった意思決定システムが整備され、その役割と権限を明確にしている。</p> <p>ホ．教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>資格取得実績や就職実績をホームページで公開し、速報を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。さらに本人了承のもと氏名や出身高校を記載した合格速報なども配布しており、入学者へのアンケートを見ると、志望者や保護者が判断する際にも役立っている。</p> <p>ヘ．情報システム化などによる業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システムと経理システムを個々に運用しており、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワークを全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見及び質問があった。</p> <p>(1) ゼミ学習は素晴らしい学習システムである。開校以来一貫して実施しているので信頼できる。</p> <p>(2) 貴校のホームページを何度か拝見しましたが、知りたい情報は得られている。</p> <p>(3) 学生情報はデータ化されているが、サーバの設置場所は学生や教職員から確認できない環境にあるのか。</p> <p>【回答】サーバールームは学生が立ち入ることができない、教職員でも限られた者しか立ち入れない。教職員ごとのアクセス権も役職に応じて適切に設定されている。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ．教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>カリキュラムは、教育課程編成委員会での外部委員の意見を踏まえてカリキュラム作成委員会で定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習で行っており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も滋養している。</p> <p>ロ．教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>学内就職セミナーで企業から回収したアンケートを基に「社会が求める人材像」を学生に明示。そのうえで多岐にわたる業界や職種の人柄、ニーズに対応できる教育を実践している。また、難関資格を目指す学生のために研究学科を設置しレベルアップできるようにしている。</p> <p>ハ．学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>学科等のカリキュラムは教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するように編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定</p>

	<p>期的に見直しを行っている。</p> <p>ニ．キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</p> <p>カリキュラムは、専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置している。なお、今後も社会の人材ニーズや指導方法などの検証は継続していく必要がある。</p> <p>ホ．授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>授業運営の適否を判断、見直しをするために学生による授業評価アンケートを実施している。また年2回、他校教員による各校見学会を実施し、相互に評価している。</p> <p>ヘ．成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</p> <p>学則・学生便覧に単位認定試験を行い、成績付与を行うことを明示しており、成績評価・単位認定の基準を明確にしている。</p> <p>ト．資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p> <p>各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のため科目の適正な配置を行っている。</p> <p>チ．人材育成目標に向け、授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>育成目標の向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p> <p>リ．教員の能力開発のための研修などが行われているか</p> <p>教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。</p> <p><各学科で実施している教員研修の紹介></p> <p>基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 地域住民の評価委員から、地域のイベントに多くの学生に参加してもらっている。その中で大学生のスタッフが「立志舎は先生と学生の距離が近くて羨ましい。」と話があった。その関係を今後も継続して欲しい。</p> <p>(2) 貴校の教職員は元気な方が多くフットワークが良い。学生と一緒に熱心に動いている。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ．就職率の向上が図られているか</p> <p>ロ．資格取得率の向上が図られているか</p> <p>前年の実績と今後の動向を踏まえ翌年の教育方法と科目編成を行っている。就職率及び資格取得率についてはともに向上が図られている。</p>

	<p><各学科より就職実績及び資格取得実績の報告></p> <p>ハ．退学率の遞減が図られているか</p> <p>退学率の低減については、一人も退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが最終目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っており、欠席した学生には担任が電話することで長期の欠席ならないようにしている。また、学生相談室を設置しており、担任以外にも相談できるようにしている。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見及び質問があった。</p> <p>(1) 会計学科は合格実績が毎年出ていることはすばらしいと思う。公認会計士試験・税理士試験は合格者を出し続ける良い流れになっている。今後も継続して欲しい。</p> <p>(2) ITビジネス学科の合格実績は素晴らしいものがある。これは将来企業に就職し、専門的な仕事をするうえで自信になる。</p> <p>(3) ITビジネス学科の各種試験の合格実績が、就職実績にもつながっていると思う。しかし情報処理系の国家試験以外の実務的な内容は何かあるか。</p> <p>【回答】ビジネス系の資格として、MOSを希望者受験している。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ．進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>就職希望者には、就職相談室を設け、就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。</p> <p>ロ．学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生の相談はまずクラス担任にするが、その他にも学生相談室を設置し相談できる体制をとっている。</p> <p>ハ．学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度を設けており、奨学金はすべて貸与ではなく給付としている。</p> <p>ニ．学生の健康を担う管理体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>ホ．課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>課外活動として野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部などのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などを学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ヘ．学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>遠隔地出身者のために提携している学生寮を紹介し、安心して学生生活が送れるよう支援をしている。</p> <p>ト．保護者と適切に連携しているか</p>

	<p>保護者には、学生に対して適切な指導、相談を行うために出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回送付している。また、必要に応じて保護者と面談も実施している。</p> <p>チ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか</p> <p>高校等との連携は各種セミナーを通じ、資格取得、就職内定を目指す生徒を応援しているが、今後もさらに連携していく必要があると思う。</p> <p>この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の質問があった。</p> <p>(1) 会計士試験や税理士試験に対して、在学中に行う学費支援の制度はないか。 【回答】会計士試験の短答式合格者に対しては、学費の減免を行っている。また、税理士は3科目合格以上で同じく学費の減免を行っている。</p> <p>(2) 情報処理安全確保支援士は登録料が数万円かかるが学校からの登録の支援はあるか。 【回答】登録は合格者の任意であり、学生はまだ実務経験がないため学校からの登録の支援はない。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っているため、施設・設備は学生に教育上支障がないように整備されている。</p> <p>ロ・防災に対する体制は整備されているか</p> <p>防災に対する体制は、防災指導担当者を定め防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。しかし、大規模災害等何が起こるかわからない状況を考え、今後も改善をしていく。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の質問があった。</p> <p>(1) 立志舎の自衛消防隊は素晴らしい活躍である。この自衛消防隊は学生が行っているのか。 【回答】教職員で組織し、万が一の災害時に備えている。</p> <p>(2) 防災体制が「ほぼ適切」になっているが、保護者としては「適切」であるほうが安心できる。 【回答】現在、防災体制は整えてあるが、大震災に備えてさらに準備が必要なため「ほぼ適切」としている。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ・学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>ロ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>募集活動において、教育成果を正確に伝えるために本学では公認会計士試験、税理士試験、情報処理技術者試験などの高度な試験の合格速報や民間就職実績</p>

	<p>については、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せており、志望者や保護者の方の判断にも役立つと思っております。入学者に対するアンケートでは卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。</p> <p>ハ．学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>また、学納金は学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見及び質問があった。</p> <p>(1) 入学時にホームページやパンフレットを参考にした。先生が親身に対応してくれるので、入学の前に見た実績が達成できる理由を実感できた。</p> <p>(2) 実績は個人情報 を考慮してアピールされている。高校時代の先輩が合格している情報が入学の決め手だった。</p> <p>(3) 高校生に対して先輩の実績を紹介するとよいと思う。</p> <p>【回答】OB・OG通信を作成し、高校を訪問して掲示してもらっている。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ．中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ．予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>ハ．財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>ニ．財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般についてですが、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。以上の点から財務については適切に運用及び管理されている。</p> <p>この基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の質問があった。</p> <p>学校数も増えているが、学校単位でも財務収支を把握しているのか。</p> <p>【回答】学校単位で収支は把握しているが、独立採算はとっていないため法人単位で公表している。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ．法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>各種法令遵守に関する研修への参加や資料配布、および毎年の人権研修を実施している。法令遵守規定があり、法令遵守推進管理者をおいて法令遵守の推</p>

	<p>進を図っている。</p> <p>ロ．個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか 個人情報保護の取り扱いが個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定しており、学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる場合には、個人情報保護に関する文書の提出を義務付けている。また、各種学業成果を公表する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し本人の承諾を得ている。</p> <p>ハ．自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ニ．自己評価結果を公開しているか 自己点検・自己評価委員会を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。今後も自己評価を実施して問題点を分析し、より良い改善をしていく。</p> <p>この基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、委員から、実績の公表の仕方やデータの運用管理の報告を受けて、貴校は個人情報の管理は適切に行われていると評価された。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ．学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ロ．学生ボランティア活動を奨励、支援しているか ハ．地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか 社会貢献・地域貢献全般については学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の道路清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。また、地域のお祭りへの参加等、その地域の状況に応じて社会貢献・地域貢献ができています。しかし、地域の方々に対する学校独自の公開講座等はないためその点はやや不適切である。</p> <p>この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の質問があった。</p> <p>(1) 地元イベントへの貴校参加のきっかけは貴校の応援団の練習している姿を見て依頼したものである。今まで以上に地域連携を深めるための問い合わせ窓口はないのか。 【回答】各学校の本部にご相談ください。ただし、学生の本分は勉強なので支障がないように協力していきたい。</p> <p>(2) 地元地域のイベントやお祭りの時に校舎を借りられるか。 【回答】地域イベントのために校舎の貸し出しは行っている。今後も要望に応じて対応する。</p>

〔総括的な意見〕

すべての評価項目の評価について妥当となっている。特に学生の合格実績、就職実績については学生の期待に応える十分な結果を出しており、何より学生からの信頼に応えるために先生方が努力されている姿及び学生と親密に接している姿は評価できる。またそれらの実績をタイムリーに公表していることは入学希望者やその保護者の要求に応え信頼できる情報となっている。卒業生も入社後にはゼミ学習を通じて養

われたコミュニケーション能力や資格取得の自信で積極的に仕事に取り組み即戦力として活躍してくれている。これからも社会に役立つ人材育成に励んでほしい。